

# 平成 30 年度 学校評価アンケート集計結果について

平成 31 年 3 月  
仙台市立松森小学校

春寒の候 保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校教育活動に対し、ご支援・ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、昨年 11 月に実施した学校評価のご協力ありがとうございました。すでに「学校だより 特別号」（平成 31 年 2 月 15 日）にて、課題と今後の取組についてはお知らせしていたところですが、下記の通りアンケート全体の集計結果がまとまりましたので、お知らせいたします。質問項目 1、6～13、21 は児童、保護者、教職員の三者に共通の内容でアンケートを実施しました。グラフは回答の割合を表しています（グラフ内の数字は回答人数になっています）。

★回答数 保護者：217名、教職員：17名、児童：255名

A：よく当てはまる B：当てはまる C：あまり当てはまらない D：当てはまらない

\* 無回答がある場合、それぞれの合計人数が合わない項目があります。また教職員は職種によって回答していない項目があります。

## I 結果の概要

全体的な傾向として三者とも評価の高い項目（A+Bで80%以上）は、昨年同様、「楽しく学校生活を送る」「協力して活動する」「相手の気持ちを考えて行動する」「仲の良い友達がいる」「勉強が分かる」「進んで運動に取り組む」でした。その他、保護者、教職員ともに評価が高かった項目は「いじめ防止対策・対応」「情報の発信」「教育相談」「保護者・地域への傾聴」でした。

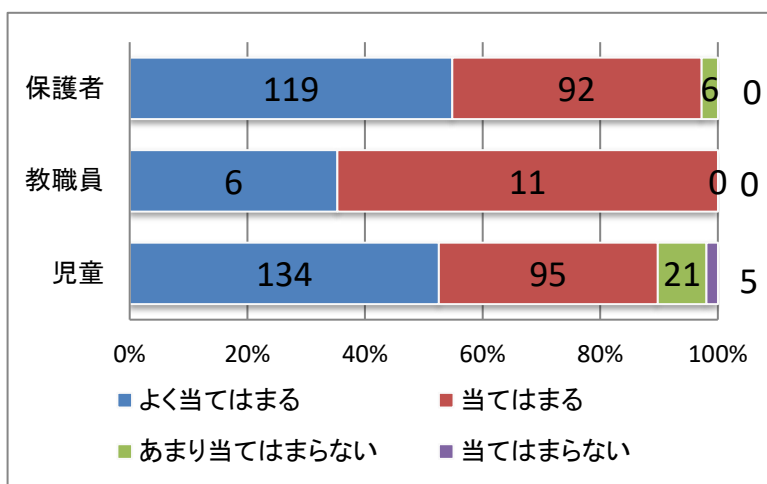
今後の課題としては、「メディアとの付き合い方」「学習状況・意欲」の項目が挙げられます。

### ○ 学校生活全般

※数字は該当人数

1

【保護者】おさんは自分らしく楽しく学校生活を送っていると思いますか。  
【教職員】子供たちは楽しく学校生活を送っていると思うか。  
【児童】学校は楽しいですか。



90%近くの子供たちが「学校は楽しい」と回答しました。保護者、教職員も同様に感じています。

他方、およそ1割の児童が楽しくないと感じています。一層、目を配りながら教育活動を進めてまいります。

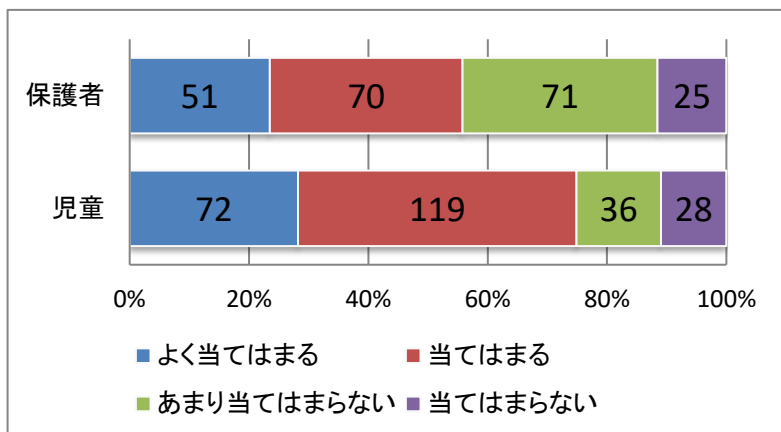
これからも児童にとって学校生活が楽しいと感じられるように努めていきたいと思っています。

○ 協働型学校評価重点目標

※数字は該当人数

2

【保護者】お子さんは テレビやゲームをする時間（2時間以内）を守っていましたか。  
【児童】テレビやゲームをする時間（2時間以内）を守れましたか。

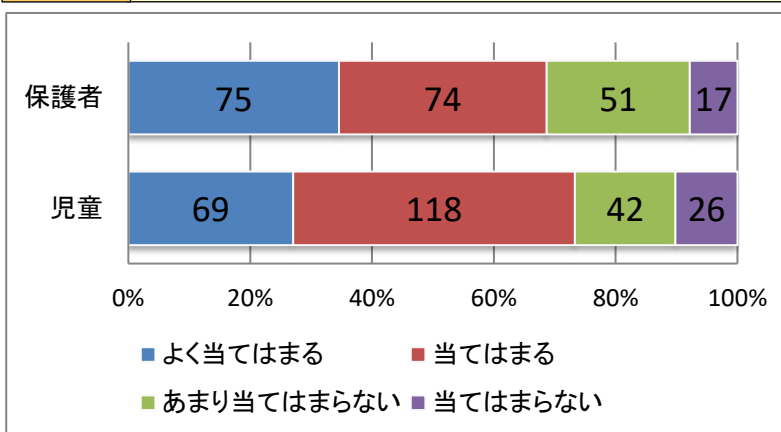


保護者と児童の認識に差がありますが、目標の80%には届きませんでした。(保護者65%, 児童75%)

1年前、児童にテレビ視聴やゲームをする時間を尋ねた質問では2時間以内を守っているのはおよそ60%でした。重点目標として取り組んだ成果が少し見られますが、メディアとかかわり方は来年度も大きな課題と言えます。

3

【保護者】お子さんは「夜9時より後はノー画面タイム」を守っていましたか。  
【児童】「夜9時より後はノー画面タイム」を守れましたか。

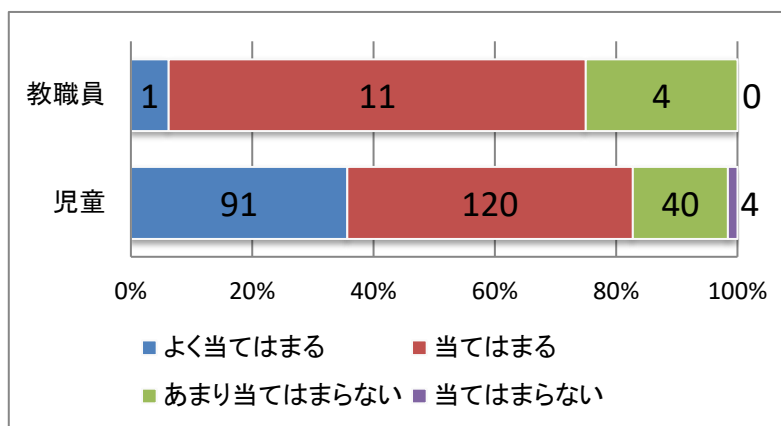


児童会で決めた行動目標「ノー画面タイム」を意識して守ろうとした(73%)児童が多かったようです。ご家庭の協力に感謝いたします。

来年度も重点目標が自分事として意識できるように、児童会で具体目標を話し合い、児童に呼びかけていきたいと思ひます。

4

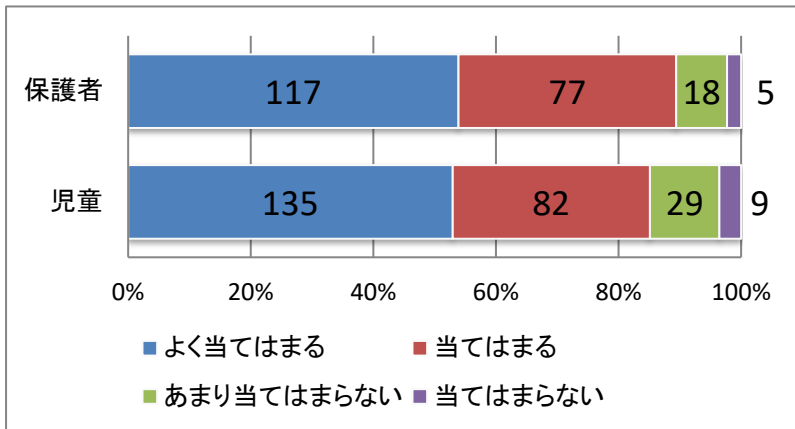
【教職員】子供たちはチャイムが鳴る前に自分の席に着いていたか。  
【児童】学校では、チャイムが鳴る前に自分の席に着きましたか。



「節度ある生活」を送る力を育てるため、学校では「チャイム前の着席」を夏休み以降、各クラスで指導してきました。

80%を超える児童が予鈴で遊びを止め、「学習モード」に切り替えることができたようです。良い学習習慣でもあるので、今後も指導を継続していきます。

5 【保護者】お子さんは、朝、ごはん（パン）と、おかずもしっかり食べていましたか。  
 【児童】朝は、ごはん（パン）と、おかずもしっかり食べた。



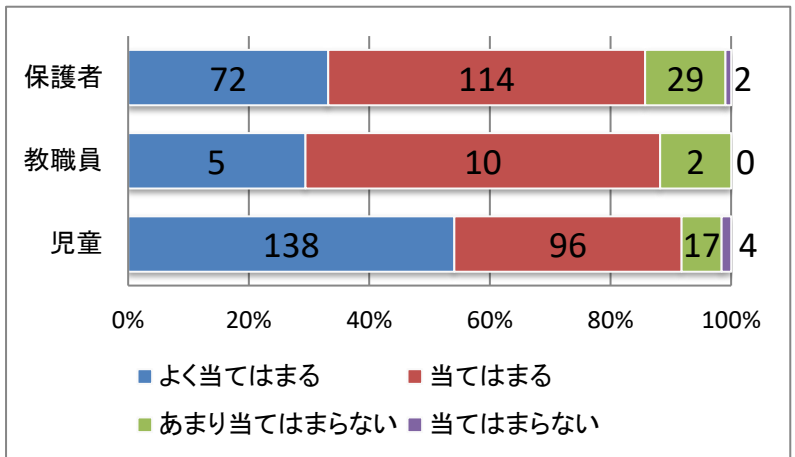
多くの家庭でお子さんにしっかり朝食を取らせてから学校に送り出していただきました。ありがとうございます。

夏休みの任意課題「我が家の朝食メニュー」を見ても各家庭で、しっかり朝食を取らせようとする工夫が随所に見られました。

今後も副菜も含めた朝食作りをお願いいたします。

○ 認め合う子 ※数字は該当人数

6 【保護者】お子さんは家の手伝いを家族と協力して取り組める子だと思いますか。  
 【教職員】子供たちは友達と協力して係活動や当番活動に取り組んでいるか。  
 【児童】友達と協力して係や当番の仕事に取り組むことができましたか。

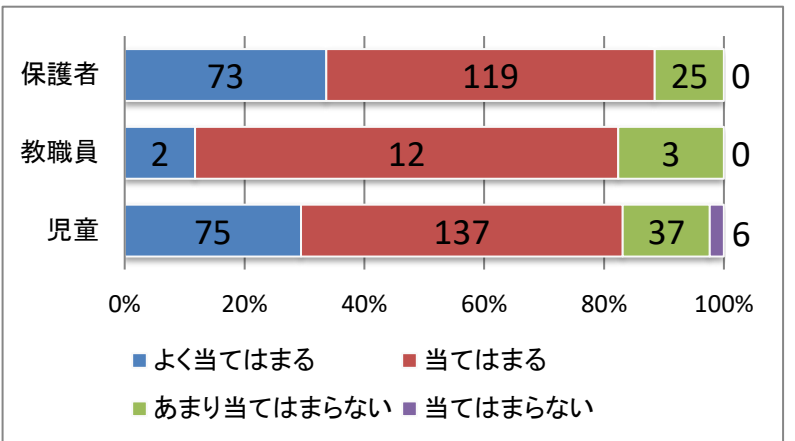


多くの子供たちが、学校では友達、家庭では家族と協力して生活しています。

学校では当番・係活動、キッズ（縦割り）活動、委員会活動等に取り組んでいます。また友達と協力して学習する機会もあります。

今後もこうした機会を通じて「役に立ち続ける子」を育てていきます。

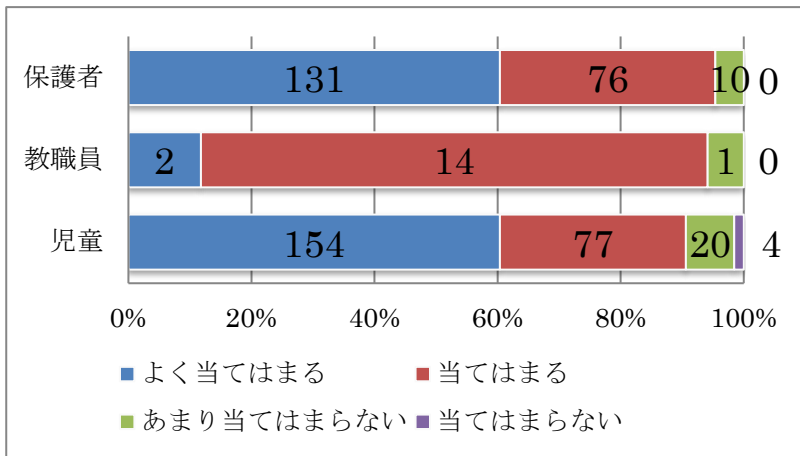
7 【保護者】お子さんは相手の気持ちを考えて話したり行動したりしてみんなと仲良くできる子だと思いますか。  
 【教職員】子供たちは相手の気持ちを考えて話したり行動したりしているか。  
 【児童】相手の気持ちを考えて、話したり行動したりしていますか。



道徳の教科化に伴い、教職員の道徳教育の研修に力を入れてきました。また心を育てる「読み聞かせ・読書タイム」を毎週実施してきました。

今後も日常の教育活動や道徳教育を通じて相手の気持ちを考えられる子供たちを育てていきます。

8 【保護者】 お子さんは仲の良い友達がいって楽しく過ごせていると思いますか。  
 【教職員】 いじめのない温かな学級づくりに努めることができたか。  
 【児童】 あなたは仲の良い友達がいって、クラスは居心地がいいですか。

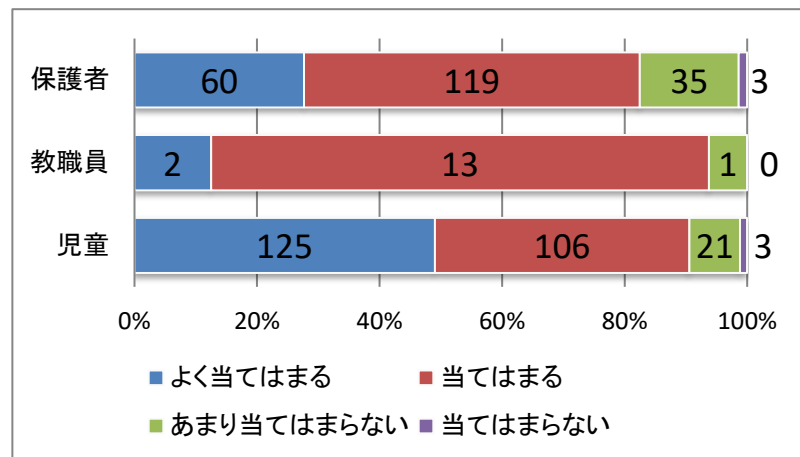


9割を超える子供たちが仲の良い友だちがいって楽しく過ごしています。しかしクラスを居心地がよいと感じていない子供が1割ほどいます。

これからも子供たちの関係作りに目を向けていき、子供たちにとって居心地がよく、いじめのない温かな学級づくりに努めていきます。

○ 学び合う子 ※数字は該当人数

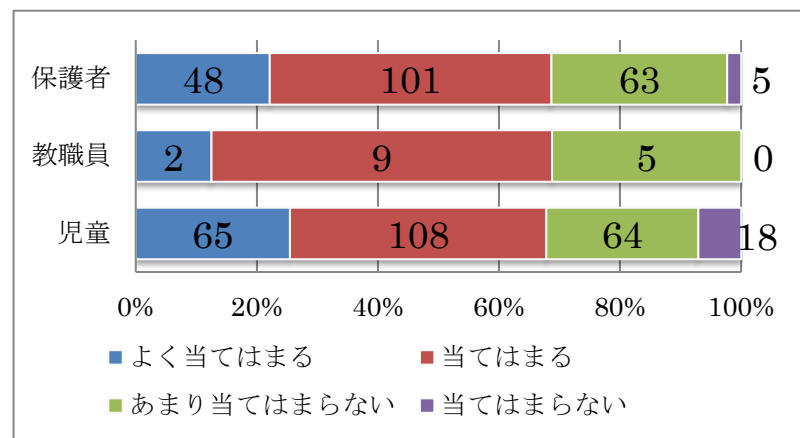
9 【保護者】 お子さんは授業の内容を理解し、学力の向上に努めていると思いますか。  
 【教職員】 授業を通して、基礎・基本の確実な定着を図り、学力向上の成果が上がっているか。  
 【児童】 勉強したことは、理解できていますか。(勉強はわかりますか)



9割の児童が勉強を「理解できている」と回答しました。しかし1割の児童は学習内容の理解が不十分と回答しています。

今後も児童の学習理解が深まるよう、日常の授業づくりを工夫し、分かる授業を目指していきます。また学力向上に向けた取組を今後とも継続していきます。

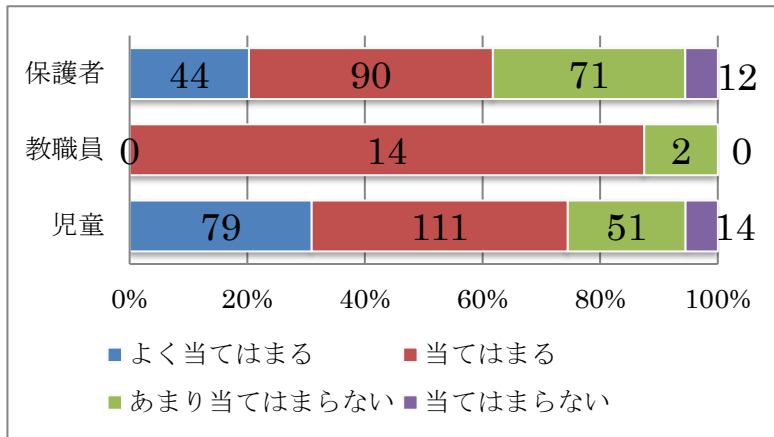
10 【保護者】 お子さんは分からない内容をそのままにせず、解決しようと努力している。  
 【教職員】 子供たちは、分からないことがあると積極的に聞こうとしているか。  
 【児童】 分からないときは、先生に質問をして分かるようにしていますか。



分からないことを先生に質問して分かるようとしている児童は6割程度に留まっています。

授業中に学習の理解度の把握に努め、分からないことを積み残さないようにしていきます。また「質問することは恥ずかしくない」ことを常に児童に伝えていきます。

1 1 【保護者】 お子さんは家で、進んで学習や読書に取り組んでいますか。  
 【教職員】 家庭学習も含めて、意欲を持って学習に取り組める工夫ができていますか。  
 【児童】 家や学校で、学習や読書に自分から進んで取り組んでいますか。

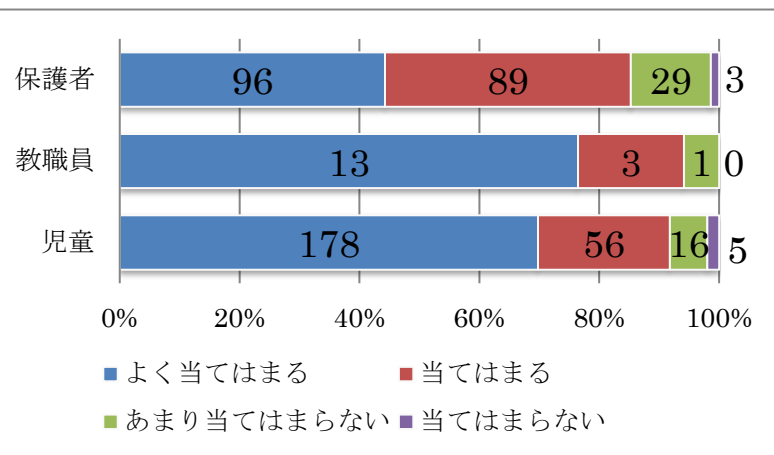


児童の学習意欲、読書意欲の評価には三者で差が見られました。

繰り返しになりますが、日常の授業づくりを工夫し、学習意欲を育むよう今後も努力してまいります。読書については、来年度は週時程の読書タイムを広げたり、読書の意義を親子で確認する機会を持ったりし、意欲の向上や習慣づけを図っていきます。

○ 鍛え合う子 ※数字は該当人数

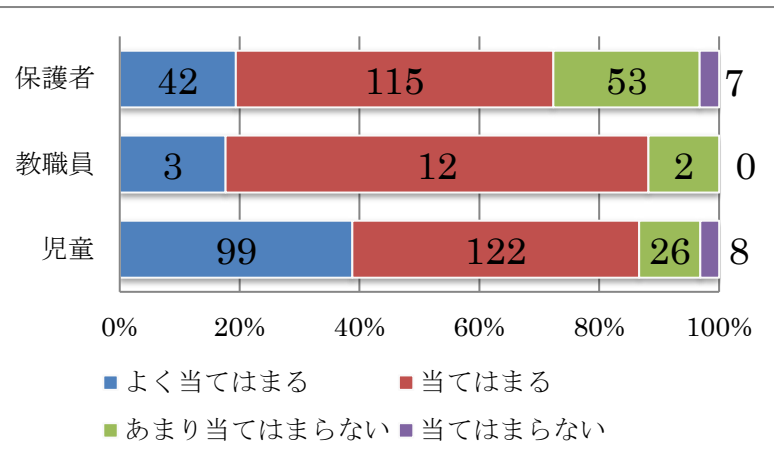
1 2 【保護者】 お子さんは進んで体を動かして運動や遊びに取り組んでいると思いますか。  
 【教職員】 子供たちは進んで運動や遊びに取り組んでいるか。  
 【児童】 体を動かして遊ぶことが好きですか。



子供たちは寒さに負けず毎日外で元気に体を動かしています（児童92%）。最近では、校内の縄跳び大会に向けてクラス全員で練習に取り組む姿が見られました。

今年度実施したスポーツテストでは仙台市平均を大幅に上回る成績を残しました。体育の授業に加え、日常の運動遊びの積み重ねが良い結果をもたらしました。

1 3 【保護者】 お子さんは自分が決めた目標に向かって粘り強く取り組み続けていると思いますか。  
 【教職員】 子供たちは目標に向かって粘り強く取り組み続けているか。  
 【児童】 あなたは自分が決めたことは最後までやりぬきますか。



子供たちの多くが学校の学習・生活場面で粘り強く取り組んでいます（児童87%）。

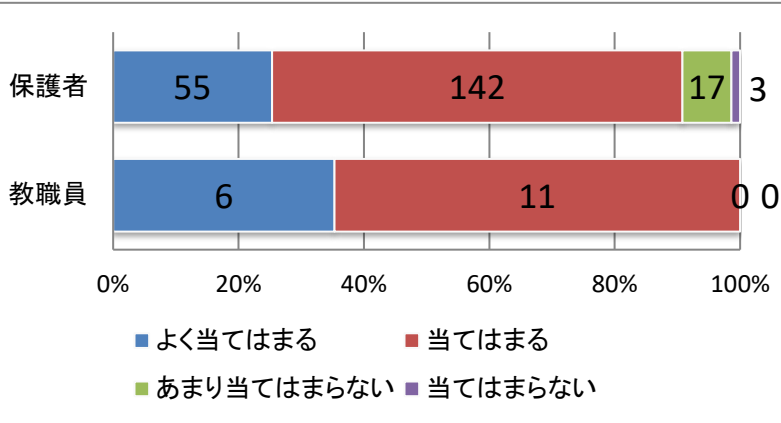
学校朝会では「なりたい自分に向かってあきらめないで努力を続けよう」と繰り返し話をしてきました。これからも教育活動を通じて「やり続けられる」よう励ましていきます。

○ 生徒指導

※数字は該当人数

1 4

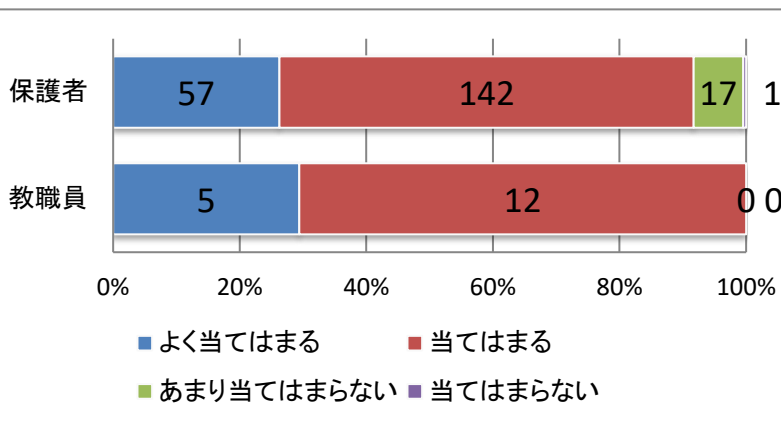
【保護者】学校はいじめ等の児童のトラブル未然防止に向けた取組を適切に行っていると思いますか。  
【教職員】いじめ等の児童のトラブル未然防止に向けた取組を適切に行っているか。



日常の観察、市のいじめ実態把握調査に加え、「生活アンケート」（年3回）を実施し、いじめ等の未然防止に努めてきました。「適切に行っていない」とのご意見もいただいておりますので、今後もしっかりとトラブル未然防止に向けた取組を継続していきます。

1 5

【保護者】学校はいじめ等の児童のトラブルが起きた場合、適切に対応していると思いますか  
【教職員】いじめ等の児童のトラブルが起きた場合、適切に対応しているか



今年度は児童支援教諭を職員組織に位置付け、いじめ等のトラブルが発生した場合に、迅速・適切に対応できるようにしてきました。

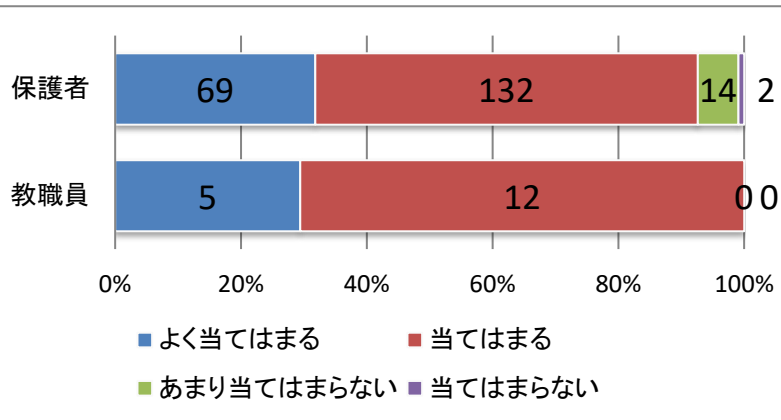
それでも「適切に対応していない」との回答が1割弱ありました。被害児童の立場に立った適切な対応をしてまいります。

○ 家庭連携

※数字は該当人数

1 6

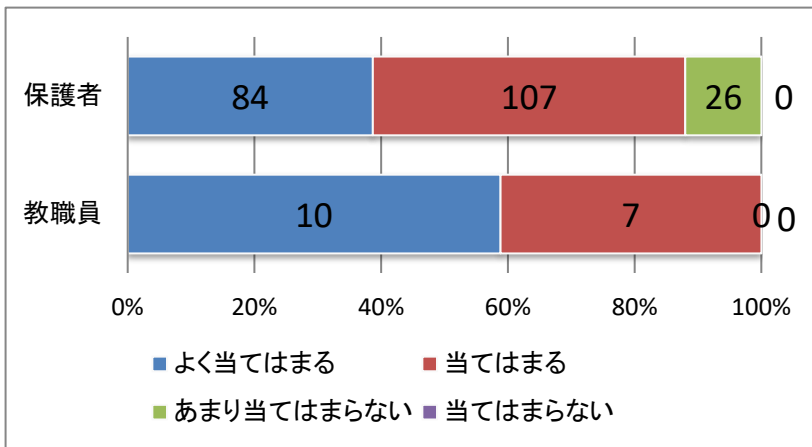
【保護者】あなたに必要な情報が、学校から提供されていますか。  
【教職員】保護者に必要な情報はきちんと提供できているか。



今年度もブログ、学校・学年だより等を通じて松森小の取組や子供たちの活動の様子を随時発信してきました。

今後も本校の教育活動への理解を深めるとともに、学校、家庭、地域が同一歩調で児童の教育に当たることができるように情報の発信に努めていきます。

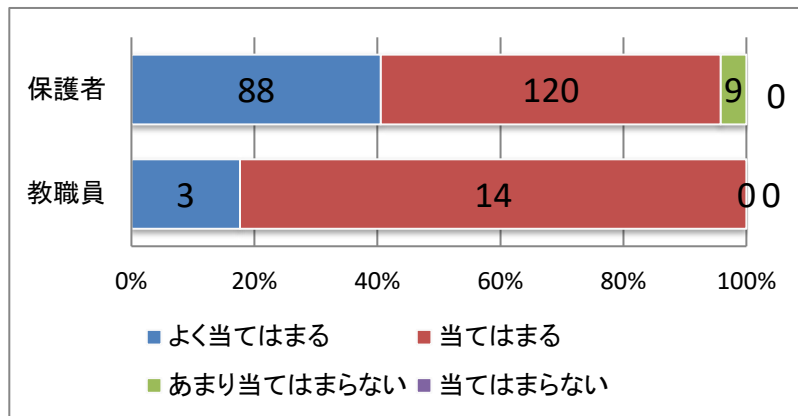
17 【保護者】児童の願いや悩みに対して、家庭と学校が気軽に連絡を取り合い、相談できる状況であると思いますか。  
 【教職員】家庭から連絡や相談があった場合、迅速に対応し、一緒に考えていく状況をつくるようにしているか。



学校では、子供たちの悩みや課題、行動の変化等に適切に対応していくため、児童支援教諭、生徒指導担当教諭、養護教諭、スクールカウンセラーを含めた相談体制を作っています。

今後もしっかり子供たちと向き合っていきます。心配なことは躊躇せずご相談ください。

18 【保護者】学校は保護者や地域の方々の意見に耳を傾け、教育活動に取り組んでいると思いますか。  
 【教職員】保護者や地域の方々の意見に耳を傾け、教育活動に取り組んでいるか。

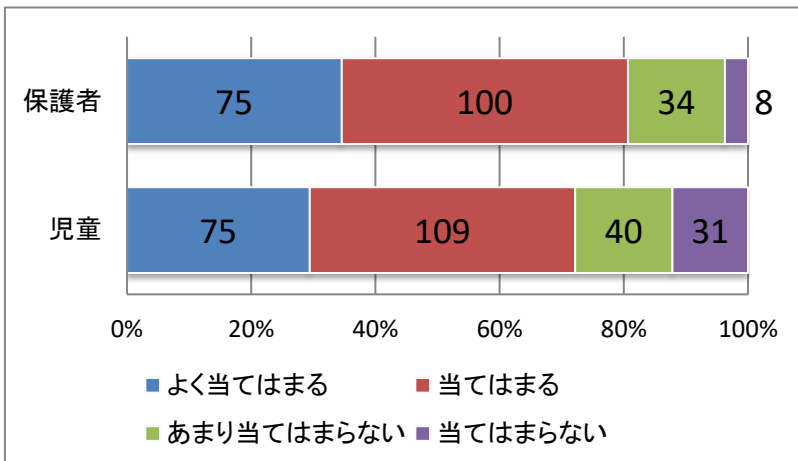


昨年度と比べて一段と高い評価をいただきました(保護者96%)。

これからも保護者や地域の方々の意見に耳を傾け、地域と共に歩む学校を目指して教育活動に取り組んでまいります。

○ 家庭・地域 ※数字は該当人数

19 【保護者】お子さんは地域の行事や活動に進んで参加していますか。  
 【児童】あなたは地域の行事や活動に進んで参加していますか

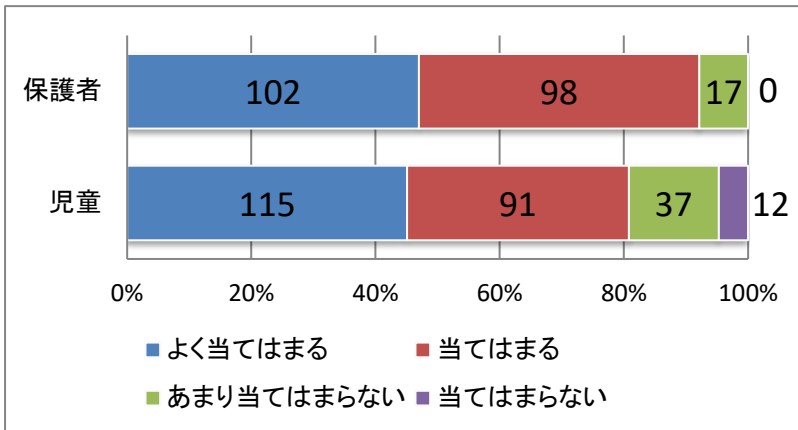


保護者の目から見て地域の行事に参加している子供たちが増えていようです。他方、習い事やスポーツ少年団等の行事と重なり、なかなか参加できずにいる子供たちもいるようです。

これからも積極的に地域行事に参加し、地域の中で子供たちを育てましょう。

20

【保護者】学校で学んだことや学校での出来事についてお子さんと話す時間を確保していますか。  
 【児童】学校で教わったことや学校での出来事を家の人に話していますか。

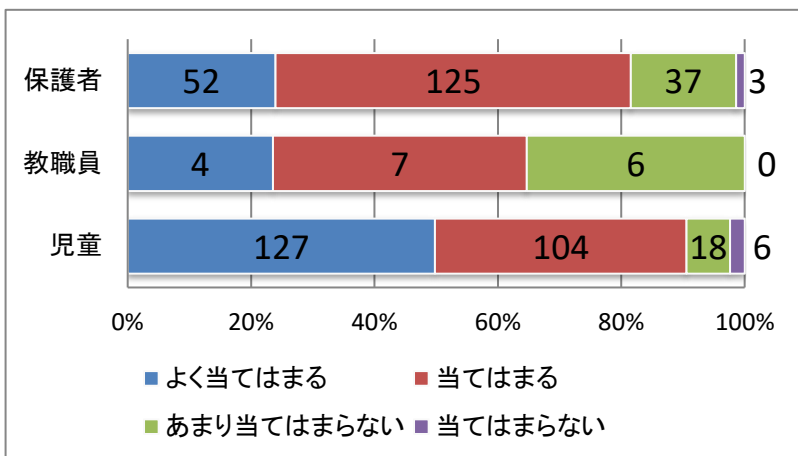


「話をしている」と回答した児童が81%で、昨年の回答を上回りました。多くの家庭で子供たちの話をしっかりと聞き、児童の思いを受け止めてくださっていることが分かりました。

これからも子供たちの話をしっかりと聞いてくださるようお願いいたします。

21

【保護者】お子さんは、より多くの人に、進んで気持ちの良い挨拶をしていますか。  
 【教職員】子供たちはより多くの人に、進んで気持ちの良い挨拶をしているか。  
 【児童】より多くの人に、進んで気持ちの良い挨拶をしましたか。



昨年度の協働型学校評価の重点目標だった「あいさつ」ですが、学校で見ると、昨年よりあいさつの声が響かなくなっている印象です。

来年度は、「節度ある・規則正しい生活」の中に「あいさつができる」ことも要件に入れ、気持ちの良いあいさつができる子供たちを育てていきたいと思っております。

## ○ テレビを見たりゲームをしたりする時間にけじめを付けるための方策（各家庭）

### 【主な方策】

- ・ゲームは宿題が終わってからやるように声がけをしている。
- ・今はまだテレビよりも、ゲームやゲームをやっているYouTubeを見ることが多いので、見たりする前に「何時まで見るの？」と声をかけ、1回に見る時間は1時間以内になっている。
- ・テレビを見る時間を2時間以内にするのは難しいが、テレビを消す時間を少しでもとるようにしている。ゲームに関しては一度始めると時間がずるずると長引くことが多いので、お友達と遊ぶときだけなど、ゲームをできる日、できない日を作るようにしている。
- ・時間を守る、見たい番組を決めて見るなど家庭の中のルールを決め、家族全員で守れるように努力する。また、どうしてそう（2時間以内、朝食をしっかりとる）しなくてはいけないのかを具体的に説明して納得できるように話した。



- ・テレビは時間を決めることと、なるべくテレビ以外で寒い冬の余暇での過ごし方を工夫したい。  
読書の時間を設けていきたい。複数の子どもで遊べるようなゲームをさせたいと思う。(トランプ、ボードゲーム、オセロ、カルタ、百人一首など)
- ・家できちんとルールを決め、タイマーなどを使って子どもにもわかりやすくするといいと思う。もう終わり?と思ってもタイマーを見れば子どもも自分が遊んだ数字で見て分かりやすいかなと思う。
- ・テレビをだらだらとつけっぱなしにすることが多かったので、特に見たい番組ではないときは、テレビを消すようにした。夜9時には「ノー画面タイムだよ」と声かけをしたり、それでもテレビを見ているときは、テレビを消すようにした。

## ○ 朝食をしっかり食べる方策 (各家庭)

### 【主な方策】

- ・出かける 1時間半前には起きて朝食をとり、給食セットや身支度にも時間的に余裕がある生活を心掛けている。
- ・毎朝同じ時間に休みの日でも朝食を取ることを義務づけ、お菓子の量を減らすようごはんをしっかりたべなさいと言っている。(が、お菓子の量は減りません)
- ・子どもが朝食を取る時間は忙しくてもなるべく一緒にテーブルに座るようにしている。
- ・起きてすぐには食べられないので、時間に余裕を持って起きられるように声をかける。
- ・朝ご飯を食べるのに、とても時間がかかるので、具だくさんのスープや味噌汁を用意してたんぱく質の具(豆腐、ベーコン、ウインナーなど)と野菜と一緒に手早くとれるようにした。
- ・おにぎりやロールパンなど、手に持って食べやすいものを出したりしている。
- ・朝、余裕を持って起床している。飽きないように給食献立表を見ながらご飯、パン、うどん等を工夫して出している。なるべく果物も食べるようにしている。

## ○ 保護者の意見 (自由記述より、主なもの)

- ・先生方はじめ(PTA)役員の方々のご協力のおかげで子どもが地域で安心して成長できていることに感謝しかありません。
- ・テレビやゲームの時間を学校でも話題にさせていただいているので、家庭でも具体的に取り組みやすい。毎年、講話等の機会を持っても良いくらいと思う。早寝、早起き、朝ご飯の基本を少しでもできるように進めていきたいと思う。学校としての目標があると、それに向けて家庭でも取り組みやすい。
- ・学校で何かあったときは先生からお電話をいただけるので、安心しています。
- ・ブログやお便り(学校・学年・クラス・保健・PTA運営委員会・図書室など)を通して子供たちの活動の様子や学校の取組がよく分かりました。
- ・いつも子供たちの様子をよく見てくださり、丁寧な指導をさせていただいていると思います。子供たちにとってほんの少し高いハードルを設定して乗り越えられる喜びや達成感を味わえるように考えていただいていると思います。おかげさまで下級生に優しいいろいろな活動に協力できる子どもに育っていると考えます。今後とも良い伝統を続けてますます良い松森小となつてほしい。